

(7) (第2409号)



大ト協重量部会の荷主懇談会

## 重量部会が荷主懇

### 「業界の窮状に理解を」

大ト協重量部会(西光

彰男部会長)は2月6日、大阪市浪速区のホテルモントレグラスミア大阪で荷主懇談会を開催し

た。

西光部会長(西光運輸)は、冒頭あいさつで「衆議院選挙では統合分裂を繰り返す第3政党が話題を集め、原子力発電所の存続廃止が論点とされてきたが、結果的には民主党が大敗し、自民党が政権を奪回した。現在、政権与党である自民党では外交、国防問題など様々な期待が寄せられているが、とりわけ国内経済の立て直しに対する経済対策事業に国民の関



西光部会長

心が集中していると思われ、その動向に注目している」と政府が進める経済対策に期待感を示すとともに、「我々運送業界においては事故防止への取り組み、環境への対応、軽油価格の高騰など経営を取り巻く環境は依然厳しく課題が山積している状況にある。しかしながら、我々は荷物を安全に迅速に届けるため、日夜最大限の努力をしている。本日出席していただいた荷主企業の皆さんにおかれては、業界の窮状を「理解いただき、より一層のご支援とお力添えを改めてお願い申し上げます」と参加した荷主企業に業界の現状への理解を求めた。

講演ではNPO法人ヘルスケアネットワークの作本貞子副理事長が、近年増加傾向にある従業員メンタルヘルスケアをテーマに、企業の安全配慮義務、ストレスの要因と発病、うつ病など精神疾患に関する問題とその対処法について説明した。